



かてい

つうしん

NO,385

H24・1・6

山田町第一保育所

「年頭にあたって」

所長 阿部 哲雄

新年明けまして おめでとうございます
皆さまには ご家族ともどもお健やかに新年を お迎えのこと
とお慶び申し上げます

思いおこしますと、昨年の年末年始は、大雪と大荒れの天候で
したが、今年は穏やかな新年の幕開けとなりました。

また、昨年は、三月十一日の東日本大震災による大津波と、そ
の後に発生した火災によって街並みは壊滅してしまいました。

この大津波は、当保育所まで押し寄せ、三クラスが床上浸水し、
園庭には大量の瓦礫が流れ着くという被害を受けました。

その後には、保育所再開に向けて準備をすすめ、四月七日にな
んとか再開にこぎつけることができました。この間や保育所再開
後にも、全国の保育所関係者を始め数多くの皆さんから、物心両
面にわたって、温かいご支援と力強い励ましをいただきました。

また、昨年十一月からは、東京都社会福祉協議会保育部会から
保育士の皆さんを、ボランティアで派遣していただいております。
これは三月まで続けられることになっております。

現在、当保育所が震災前同様の運営を続けられているのは、こ
れらのご支援によるところが大きく、心から感謝しています。

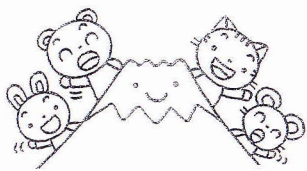
平成二四年の年頭にあって、職員一同心機一転、震災の悪夢
を振り払い、一致協力して、子どもたちが身心ともに健やかに成
長していくことができるように、乳幼児期にふさわしい生活の場
となる保育所づくりに全力で取り組んでまいります。

すみれ組の子どもたちにとっては、小学校への入学が三か月後
に迫ってまいりました。小学校へ入学してから「小一プロブレム」
といった問題が起きることなく、保育所から小学校への連携がス
ムーズに行けるように、その対応に努めてまいります。

保護者の皆さまには、昨年にも増して、山田町第一保育所に対
するご理解とご協力をお願い致します。

当保育所における今月の入退所の状況は、ちゅうりつぷ組に佐
藤侑亮くんが入所し、現在の児童数は、男児 四十七名、女児 五
十一名、計 九十八名となりました。

新年が、平穏な良い年でありますように、祈念いたします。



1月のよてい

- 1日 元旦
- 9日 成人の日
- 12日 みずき団子作り
(すみれ・さくら組)
- 18日 誕生会・紙飛行機大会
園内研修
- 21日 喜寿を祝う会
- 27日 避難訓練・職員会議
- 10・17・24・31日 英語活動
(すみれ・さくら組)



1月生まれのおともだち

たんじょうび おめでとう

- 1歳になりました (ひよこ組)
ささき いづさん 29日
- 2歳になりました (ひよこ組)
かなやま けいとくん 20日
すずき こうたくん 6日
- 3歳になりました (たんぼぼ組)
よこた みうさん 2日
- 4歳になりました (ちゅうりつぷ組)
あべ ふうがくん 10日
さかもと こうだいくん 12日
- 5歳になりました (さくら組)
かんどう ゆなさん 5日
やまもと ひなこさん 26日
- 6歳になりました (すみれ組)
ほりあいらいくん 18日



1月の保育目標

ひよこ組

- 衣服や室温・温度の調節をし、体調の変化や感染症に十分留意する。
- 保育士や友達と遊ぶ中で、簡単な言葉のやり取りを楽しんだり、友達との関わりを深めていく。
- 簡単な身の周りの事を自分でしようとし、出来た喜びを感じる。

たんぼぼ組

- ☆ 生活リズムを整え、健康に過ごせるようにする。
- ☆ 冬の自然事象に、興味・関心を持ち、見たり触れたりして遊ぶ。

ちゅうりつぷ組

- 冬の快適な生活の仕方を知り、健康に過ごせる様にする。
- 正月遊びのルールを知り、体を動かした遊びも友達と一緒に楽しむ。
- 冬の自然事象に興味を持ち、雪や氷などに触れて楽しむ。

さくら組

- ☆ 冬の生活に必要な習慣を身につけ、健康で快適に過ごせるようにする。
- ☆ 正月遊びなど、友達や異年齢児と一緒にルールを守って遊ぶことを楽しむ。
- ☆ 雪や氷などの冬の自然事象に興味や関心を持ち、友達と一緒に雪遊びを他に楽しむ。

すみれ組

- 健康な生活に必要な生活や態度を身につけ、目標や見通しを持つて意欲的に活動する。
- 友達と考えを伝えあって、遊びをすすめ繋がりを深める。
- 正月遊びやゲームを楽しみながら、文字・数に関心を持つ。
- 冬の自然現象に親しみ試したり・発見を楽しんだりして、関わって遊ぶ。

